

泊3号炉 耐震設計方針説明スケジュール

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序	2021年度				2022年度												2023年度											
					3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月								
			耐震設計方針					①		②	★																					
			集計結果							①	①																					
			耐津波設計方針 取水性影響							①	①			①②	★																	
			防潮堤					①①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	①	②	★	
1	基準地震動の策定	2	策定した基準地震動の妥当性																													
2	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動の設定	1																														
3		1	震源を特定せず策定する地震動による基準地震動の設定																													
4	耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る審査実績のない設計条件・評価手法の採用など	21																														
5	プラント側審査の主な説明項目	耐震設計方針	地下水位の設定																													
6			地盤の液化性影響評価																													
7			既工認との手法の整理(耐震設計方針含む)																													
8	本文	耐震設計方針																														
9		別添-1	設計用地震力																													
10		別添-2	動的機能維持の評価																													
11		別添-3	弾性設計用地震動・静的地震動による評価																													
12		別添-4	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について																													
13		別添-5	水平2方向及び鉛直方向の地震力の組合せに関する影響評価方針																													
14		別添-6	屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定の考え方																													
15		別添-7	主要建屋の図面集																													
16		別添-8	入力地震動について																													
17		別紙-1	既工認との手法の相違点の整理(設置許可変更申請段階での整理)																													
18		別紙-2	上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討																													
19		別紙-3	水平2方向及び鉛直方向の地震力の適切な組合せに関する検討について																													
20		別紙-4	規格適用範囲内の動的機能維持の評価																													
21		別紙-5	地震における燃料被覆管の閉じ込め機能の維持について																													
22		別紙-6	土木構造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について																													
23		別紙-7	後施工せん断補強筋による耐震補強について																													
24		別紙-8	屋外重要土木構造物等の耐震評価における断面選定について																													
25		別紙-9	液状化影響の検討方針について																													
26		別紙-10	地下水位設定方針について																													
27		別紙-11	地下水排水設備について																													

【スケジュールの作成方法について】

- スケジュールの上段では審査会合で提示するスケジュールから、耐震設計方針及び耐津波設計方針に係る内容について抽出しております。
- それを基にスケジュールの下段にて前々タスクとなる事項との関連を考慮して資料提出、ヒアリング、審査会合の希望時期をプロットしたうえで、ヒアリングや審査会合が輻輳する時期を極力少なくするように配置しております。
- その中でもクリティカルパスに係る箇所およびサブクリティカルとなり得る箇所については背景色を変えております。加えてクリティカルパスとなる箇所については下部に矢印も表記しております。
- ヒアリングや審査会合の輻輳状況を確認するため、最上段に耐震設計方針と耐津波設計方針に係るヒアリング及び審査会合の状況がわかるように各々を集計した結果を示しております。
- 上記の検討結果を踏まえて、スケジュール上段のバーを更新し、更新前のバーは灰色の影で示しております。

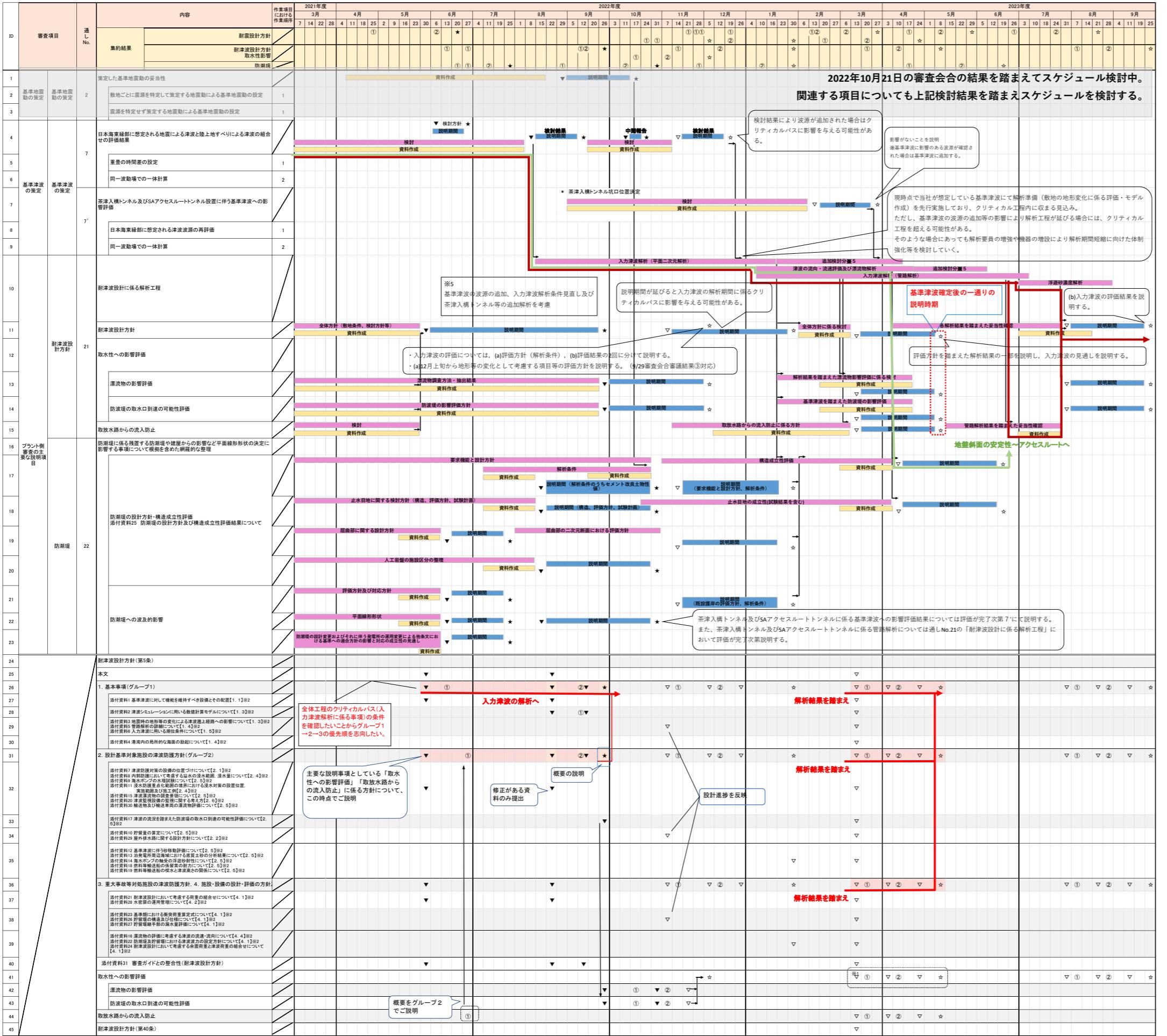
初回ヒアリングコメントの反映。クリティカルパスとならない範囲で、2回目ヒアリング及び審査会合時期を先送り。

基準地震動確定後の耐震設計方針について一通りのご説明をする。

これ以上、耐震設計方針に係る審査会合が遅延すると本件が全体スケジュールのクリティカルパスとなる。
青枠内の項目については「既工認との手法の相違点の整理」を主軸とした耐震設計方針の審査会合で説明できるようヒアリング時期を設定することを志向したい。

泊3号炉 耐津波設計方針説明スケジュール

2022年11月8日
北海道電力株式会社



泊3号炉 耐津波設計方針説明スケジュール

2022年11月8日
北海道電力株式会社

ID	審査項目	通しNo.	内容	作業項目における作業順序	2021年度				2022年度												2023年度													
					3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月						
1	耐震設計方針	集約結果	耐震設計方針	①	②	★																												
2	耐津波設計方針	取水性影響	耐津波設計方針	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①						
3	防潮堤		防潮堤	①	②	★	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	①	☆					
4	策定した基準地震動の妥当性		資料作成															★																
5	敷地ごとに震源を特定して策定する地震動による基準地震動の設定		説明期間	★																														
6	震源を特定せずに策定する地震動による基準地震動の設定																																	
7	日本海東縦部に想定される地震による津波と陸上地すべりによる津波の組合せの評価結果		検討方針	★	説明期間	★																												
8	重量の時間差の設定		検討	資料作成																														
9	同一波動場での一体計算		検討結果	説明期間	★	中間報告	★	検討	資料作成	説明期間	★																							
10	日本海東縦部に想定される津波波源の再評価		検討	資料作成																														
11	同一波動場での一体計算		検討	資料作成																														
12	耐津波設計方針		検討	資料作成																														
13	耐津波設計方針		全体方針	(敷地条件、検討方針等)	資料作成																													
14	取水性への影響評価		説明期間	★																														
15	漂流物の影響評価		説明期間	★																														
16	防波堤の影響評価		説明期間	★																														
17	防波堤の影響評価		説明期間	★																														
18	防波堤の取水口到達の可能性評価		説明期間	★																														
19	取放水路からの流入防止		説明期間	★																														
20	防潮堤の主要な説明項目		説明期間	★																														
21	防潮堤		要求機能と設計方針																															
22	防潮堤		解析条件																															
23	防潮堤		資料作成																															
46	防潮堤		構造成立性評価																															
47	要求機能と設計方針、構造成立性評価の基本方針、断面の選定		資料作成																															
48	解析条件について		資料作成																															
49	止水目地に関する検討方針		資料作成																															
50	屈曲部に関する設計方針		資料作成																															
51	人工岩盤の施設区分の整理		資料作成																															
52	評価方針及び対応方針		資料作成																															
53	平面線形形状		資料作成																															
54	防潮堤への波及的影響		資料作成																															
55	防潮堤		資料作成																															

2022年10月21日の審査会合の結果を踏まえてスケジュール検討中。

関連する項目についても上記検討結果を踏まえスケジュールを検討する。

検討結果により波源が追加された場合はクリティカルバスに影響を与える可能性がある。

影響がないことを説明

※基準津波に影響のある波源が確認された場合は基準津波に追加する。

現時点で当社が想定している基準津波にて解析準備(敷地の地形変化に係る評価・モデル作成)を先行実施しており、クリティカル工期内に収まる見込み。ただし、基準津波の波源の追加等の影響により解析工程が延びる場合には、クリティカル工程を超える可能性がある。そのような場合にあっても解析要員の増強や機器の増設により解析期間縮短に向けた体制強化等を検討していく。

※5 基準津波の波源の追加、入力津波解析条件見直し及び茶津入構トンネル等の追加解析を考慮

説明期間が延びると入力津波の解析期間に係るクリティカルバスに影響を与える可能性がある。

評価方針を踏まえた解析結果の一部を説明し、入力津波の見通しを説明する。

評価方針を踏まえた漂流物影響評価に係る検討結果を説明する。

基準津波を踏まえた防波堤の影響評価

各解析結果を踏まえた妥当性確認

管路解析結果を踏まえた妥当性確認

地盤斜面の安定性～アクセスルートへ

津波の流向・流速評価及び漂流物解析

入力津波解析(管路解析)

浮遊砂濃度解析

(b)入力津波の評価結果を説明する。

津波条件を踏まえた設計方針、構造成立性評価結果について説明する。

また、茶津入構トンネル及びSAアクセスルートトンネルに係る管路解析については通りNo.21の